

HPV ワクチンの実施状況について

○ 実施状況について

令和7年度(令和7年4月から令和8年3月末まで)の、HPV ワクチンの定期接種の実施状況について、各都道府県を通じて全市町村に調査を行ったところ、実施状況は下表の通りであった。

令和7年度の HPV ワクチンの定期接種の実施状況

	第1回	第2回	第3回
従来の定期接種 接種者数 (人)	291,037	285,528	97,018
全国年間実施率 (%)	57.0	55.9	19.0
参考1) 令和6年度 全国年間実施率 (%)	93.7	76.0	32.2
参考2) 令和5年度 全国年間実施率 (%)	67.2	44.6	29.4
キャッチアップ接種 接種者数 (人)	2,598	194,772	324,557
参考3) 令和6年度 キャッチアップ接種 接種者数 (人)	1,109,082	971,469	869,717
過去の接種歴が不明である者の数(人)	-	131	266

※ 留意事項

- 各数値は、各都道府県からの報告に基づき、速報値として算出している。
- 従来の定期接種の「接種者数」は、12歳となる日の属する年度の初日から16歳となる日の属する年度の末日までの間にある女子で接種した者の数である。令和7年度の「全国年間実施率」は、「接種者数」を対象人口(標準的な接種年齢期間の総人口)で除して算出している。なお、標準的な接種期間は、13歳となる日の属する年度の初日から当該年度の末日までの間のことである。
- 令和5年度、令和6年度の「全国年間実施率」は、接種者数(地域保健・健康増進事業報告の「定期の予防接種被接種者数」より計上)を、対象人口(標準的な接種年齢期間の総人口を総務省統計局推計人口《令和5年10月1日現在》から求め、これを12ヶ月相当人口に推計したもの)で除して算出している。
- 令和5年度、令和6年度の「全国年間実施率」は、積極的勧奨の再開等に伴う周知の強化により、最終学年となる世代の接種者が大幅に増加したことによる影響に留意して解釈を行う必要がある。
- キャッチアップ接種は、時限的に、従来の定期接種の対象年齢を超えて接種を行う接種のことをさし、平成9年度～平成19年度生まれまでの女子(従来の定期接種の対象者を除く)が対象者となる。「接種者数」は、この対象者で接種した者の数である。
- 定期接種の対象ワクチンは3種類あり、合計2回又は3回接種を行う。上表は、それぞれの回数における実施状況を示している。
- 令和7年度の数値は速報値であり、今後の集計で修正される可能性がある。令和6年度、令和5年度の数値は、地域保健・健康増進事業報告「定期の予防接種被接種者数」より引用した。